

# 令和7年度 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会

## 令和7年度取組報告と 令和8年度以降の取組予定

---

# 【浜松市】 取組報告 (R7の取組内容)

- 令和7年度は、「流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保」などに取り組んでいる。
- 今後も関係機関と連携を図り、取り組みを継続していく。

## ● 主な取組内容(R7年度)

### ○ 流域治水として貯留機能(校庭貯留)の確保

浜松市総合雨水対策計画を改定し、校庭貯留対象校を44校に拡大し、7年度では整備工事を実施し、5校の校庭貯留施設を整備。



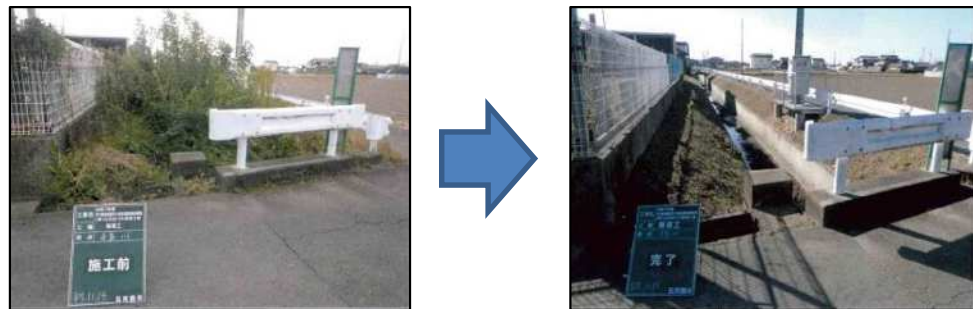
### ○ 浸水センサを設置し河川管理の高度化を図る

市内の浸水被害地区に浸水センサ3基を新たに設置(移設)



### ○ 河川機能の確保

市が管理する河川について、堆積土砂や河道内樹木が流下能力の阻害となっている箇所について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保する。



### ○ 住民主体の減災プロジェクトの推進

災害を自分ごとと捉え、防災気象情報等を基に、主体的に避難行動を考え、判断できるよう、自主防災隊へ「わたしの避難計画」の作成に関する説明会(「わたしの減災プロジェクト」)を開催した(2地域)



※R7年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

浜松市

## ●今後5カ年のロードマップ

項目	令和7年度	取組実績	取組予定	対象外
		令和8年度	令和9年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	災害対応及び浸水想定区域の指定に伴い避難判断マニュアルの検証実施	防災気象情報の改正等及び災害対応を踏まえた避難判断マニュアルの見直し	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	災害対応に伴いタイムライン等の検証実施	関係課等との連携による必要なタイムラインの見直し	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成、訓練実施の呼び掛け実施	避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施の呼びかけ	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	新たに指定された河川のハザードマップ公開	「わたしの減災プロジェクト」での「わたしの避難計画」の作を促進 必要に応じてハザードマップの更新	
	■ 自主防災体制の強化	自主防災隊への出前講座実施	自主防災隊への出前講座実施及び各隊からの相談対応	
	■ 水災害教育の充実	防災ノートの配付、出前講座の実施	小中学校の総合学習講座、浜松市防災学習センターの講座などでの水災害教育に努める。	
	■ 避難行動を促す取組	市ホームページ（防災マップ）等にて情報提供実施、出前講座実施	市ホームページ（防災マップ）等での雨量及び水位情報や緊急避難場所等の情報発信及び出前講座の実施	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	防災ホットメールやLINE等の各種配信ツールによる避難情報の一括配信	緊急速報メール、浜松市防災ホットメール及びLINE等並びに同報無線等による避難情報の発信	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団水防演習、重要水防箇所合同巡視の実施	水防演習等の実施による水防団との連携及び水防活動に活用する資材の充実を検討	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	排水資器材の情報把握	地域（消防や建設会社）が有するポンプ等の情報把握	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	九領川河川整備、校庭等貯留施設の整備、ため池事前放流施行運用	河川整備計画及び浜松市総合雨水対策計画に基づく九領川等の改修推進	
	■ 河川における機能の確保	市管理河川の堆積土砂撤去、アプリ活用河川点検	市管理河川の巡視及び点検実施、支障箇所の堆積土砂撤去・樹木伐採等の実施	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	河川巡視・点検を実施	河川改修等に合わせた堤防天端舗装の実施	
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	水位計、量水計の設置検討、水防倉庫整備の実施	水位計及び量水標の設置の検討並びに水防倉庫の整備実施	
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項			
	■ 被害対象を減少させる対策	防災指針（防災都市づくり計画）の公表	集落制度に関する基準の見直し検討	

## ●令和8年度の取組予定

### ■ 流域治水の推進

貯留施設整備による流出抑制対策  
・浸水リスクが高い重点対策エリア等の小中学校44校を対象に進めてきた貯留施設整備を引き続き、関係機関と連携を図りながら実施する予定。

### ■ 河川機能の確保

・市が管理する河川について、堆積土砂や河道内樹木が流下能力の阻害となっている箇所について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保する。

### ■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

・新たに指定された洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と避難に係る訓練の実施を推進し、避難確保計画及び訓練実施報告の提出を求める。

### ■ 災害を自分ごとと捉える取組

・「わたしの減災プロジェクト」を実施し、「わたしの避難計画」作成の促進を図ることで、市民が災害を自分ごとと捉えるための一助とする。（令和6～9年度）

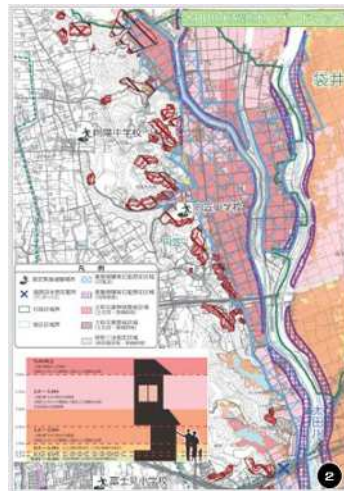
- 従来の洪水と土砂災害の訓練を合わせ、実際の気象状況に即した水害避難訓練を実施した。
- 中小河川のハザードマップを作成し、ホームページからの閲覧を可能とし、啓発に努めた。
- 民間企業や団体と連携して、防災啓発イベントを実施した。

●主な取組内容(R7年度)

○「水害避難訓練」の実施

令和7年8月に水害避難訓練を実施した。

- ・訓練日までにハザードマップにより自宅の危険性と避難先や避難のタイミングを確認
- ・訓練当日は、大雨による土砂災害と河川氾濫に関する避難情報の発令による緊急避難場所への避難訓練を実施



③避難のタイミングを考えよう！

避難に時間がかかる方（ご高齢の方、乳幼児等）  
⇒「高齢者等避難」で行動を開始  
対象区域の方全員  
⇒「避難指示」で行動を開始  
○わたしの避難のタイミングは ③ 分でです

④実際に避難してみよう！

・避難場所(水害時)は ① 分  
・(土砂災害時)は ② 分  
・避難のタイミングは ③ 分

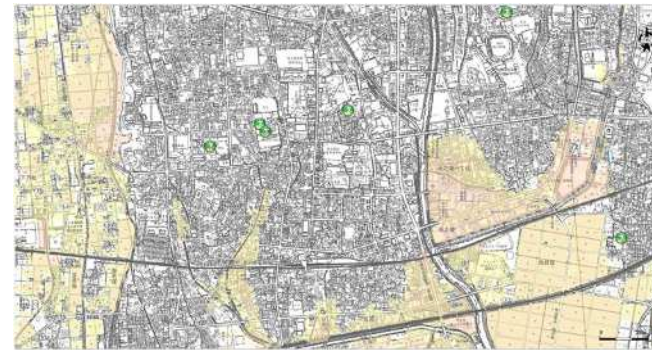
当日

当日のタイムスケジュール

時間	市の動き	皆さんの動き
9:30	土砂災害警戒区域に「避難指示」発令	土砂災害警戒区域付近の方は全員避難開始
9:45	洪水想定区域に「高齢者等避難」発令	洪水想定区域の避難に時間がかかる方は避難開始
10:00	洪水想定区域に「避難指示」発令	洪水想定区域の方は全員避難開始
10:45	防災訓練市況	希望者は防災訓練受講 ※向存交流センター会場まで
11:30	終了	終了

※中止の場合は、しずおかポータル「防災情報」にてお知らせします  
また、中止の場合は同連絡が取りません。  
※本年で実施しない場合は向存交流センターへお申し込みください  
※訓練後、別組アンケートへのご協力をお願いします

○中小河川のハザードマップを作成



より市民に身近な中小河川のハザードマップを作成し、ホームページから地理情報システムによる閲覧を可能とした。  
市民向けの防災講座等の実施による継続的な周知・啓発により、市民の防災意識・防災力を底上げを図った。

○民間企業や団体と連携してイベントを開催



民間企業と市の共催で、子どもから大人まで楽しく防災を学ぶことができるイベントをららぽーと磐田で開催した。  
市内外の防災関連企業や団体によるブース出展や、災害時に活躍する車両の展示などが行われ、参加者は日常の延長で、もしにも備える大切さを認識した。

※R7年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

磐田市

## ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	避難情報の判断・伝達マニュアルの随時見直し		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	危機管理ヒアリングを実施行動計画の検証を実施	各団体の災害時における活動拠点の整理	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	新規事業者への説明を実施	避難確保計画に基づく避難訓練の実施の呼びかけ	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	中小河川ハザードマップの作成デジタル化	内水ハザードマップの作成	
	■ 自主防災体制の強化	自主防災会への研修会の実施	防災講座や訓練の継続実施	
	■ 水災害教育の充実	市民団体による防災講座実施	小中学校及び市民向けの講座の実施	
	■ 避難行動を促す取組	洪水避難訓練の実施	洪水避難訓練の継続実施	
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	SNS等を活用した情報発信	情報発信ツールの研究	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	天竜川重要水防箇所合同巡視	合同巡視の継続	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	弁天川樋門設置	弁天川ポンプ設置、雨水排水ポンプ場設備増強・更新	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	水災害対策プラン・いわた流域治水共創プロジェクトに基づく着実な治水・浸水軽減対策の推進		
	■ 河川における機能の確保	河川パトロールの継続実施、河川・調整池等の浚渫	河川パトロールの継続実施、河川・調整池等の浚渫	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	浸水センサの増設（豊岡地区に2箇所）	計画的な浸水センサ増設、効果的な浸水センサ運用方法の検討	
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	浸水被害軽減のための大島排水ポンプ場の整備	雨水排水ポンプ場の改築更新、設備増強・更新	
	■ 被害対象を減少させる対策	立地適正化計画（防災指針の策定を含む）の改定	立地適正化計画（防災指針の策定を含む）の改定	

## ●令和8年度の取組予定

### ■ 避難情報の判断・伝達マニュアルの見直し

令和8年度から運用される新たな防災気象情報に伴う、避難情報の判断・伝達マニュアルを見直し、住民へも広く周知する

### ■ 内水ハザードマップの作成

内水ハザードマップを作成し、継続的な周知・啓発により市民の防災意識・防災力を底上げ

- ・ホームページによる周知
- ・防災講座等による周知

## 【掛川市】 取組報告 (R7の取組内容)

- 出前講座、防災リーダー養成講座等を継続的に実施し、地域防災力の向上を図る水災害教育に取り組んでいる。
- 防災メール・防災ラジオ等を活用した災害情報の取得を市民に周知し、円滑で確実な避難に資する情報発信に取り組んでいる。

### ●主な取組内容(R7年度)

#### ○防災リーダー養成講座(初級編・上級編)を実施

令和7年6月、9月・11月に地域防災力の向上を目的として、水害の発生原因や情報の収集、避難のタイミング等の講座を実施。



#### ○水防・土砂災害避難訓練を実施

令和7年5月に自主防災会、水防団が協働し、出水時の防災体制の確認及び水防工法技術並びに習得と被害状況の確認訓練を実施。



#### ○流域一体型タイムライン策定に向けた読み合わせ訓練を実施

国・県・掛川市の参加による読み合わせ訓練を令和6年5月に実施。  
フェーズごとに防災行動及び関係機関間の連携行動、役割分担等を確認。



#### ○河道内堆積土砂の浚渫を実施

普通河川清ヶ谷川(山崎地内)ほか8河川の浚渫工事を実施。



着工前

完成後

普通河川清ヶ谷川の浚渫状況

### ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定	対象外
		令和7年度	令8年度	令和9年度～		
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習訓練の実施	ホットライン・洪水対応演習等情報伝達訓練の実施、発令基準を適宜見直し 等			
	■避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	対応行動整理表に関する勉強会実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等			
	■要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	高齢者福祉施設の避難確保計画の更新 作成率は100%	施設管理者への防災情報等の提供、研修会を適宜実施 等			
	■水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図（掛川市防災ガイドブック）の更新・配布	洪水浸水想定区域図（掛川市防災ガイドブック）の更新・配布、広域避難体制の検討 等			
	■自主防災体制の強化	出前講座の開催	防災情報の提供、活動の支援、出前講座の開催 等			
	■水災害教育の充実	出前講座・防災リーダー養成講座の開催	出前講座・防災リーダー養成講座の開催 等			
	■避難行動を促す取組	掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン（家庭の避難計画・デジタル版）の推進	掛川市防災ガイドブックを更新・配布し、マイ・タイムライン（家庭の避難計画・デジタル版）の推進、出前講座の開催 等			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線（防災ラジオ）・災害メール等の活用	同報無線（防災ラジオ）・災害メール等の活用 等			
	■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	重要水防箇所合同巡視に参加水防訓練の実施	国主催の重要水防箇所合同巡視に参加、水防訓練の実施 等			
	■氾濫水を迅速に排水するための取組		ポンプ数の情報を把握・整備・排水ポンプ管理運用 等継続実施			
	■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	田んぼダム実証実験(R6完了)後も継続実施	ため池や水田など流域の貯水機能の保全、確保などの流出抑制対策の推進、田んぼダム拡大に向けた検討 等			
	■河川における機能の確保	河川の河道掘削等の実施	巡視や地元からの情報提供により状況を把握し、国または県については随時報告、撤去要望。市河川は必要時、堆積土撤去等を実施する			
	■施設能力を上回る洪水への対応					
	■被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	土のうステーション設置の補助	小河川の水位センサーによる水位情報提供、各地区に土のうステーション設置の促進・補助 等			
	■河川管理施設の整備等に関する事項		県管理河川フラップゲート化検討			
	■被害対象を減少させる対策		水田貯留について検証・拡大 等			

### ●令和8年度の取組予定

#### ■水災害教育の充実

地域の自主防災組織を対象に、防災知識と救助技術等を身につけた防災リーダーを養成し、「地域で守る」共助（近助）の力、地域防災力の向上を目的として防災リーダー養成講座を開催。水害の発生原因や、情報の収集、避難のタイミング等を学習。



防災リーダー養成講座

#### ■避難行動を促す取組

掛川市防災ガイドブックを使用し浸水実績等の周知、マイ・タイムライン（家庭の避難計画およびデジタル版家庭の避難計画）を推進し水害リスクに対する理解促進に取り組む。



## 【袋井市】 取組報告 (R7の取組内容)

- 令和7年度は「消防(水防)団員への水防工法研修会の実施」「消防(水防)団員確保に向けたPR活動の実施」「重要水防箇所及び水防倉庫の巡視」等に取り組んでいる。
- 引き続き、現在の取組を推進していくとともに、過去に実施した取組についても、他の構成機関を参考に適宜見直しを行い、内容をより充実させていく。

### ● 主な取組内容(R7年度)

#### ○消防団(水防団)員への水防工法研修会の実施

出水時期や合同水防工法訓練を迎えるにあたり、消防(水防)団員に対し、水防工法の講習会を行い、有事の際に現地で直ちに活動できるよう、土のうの作成方法や月の輪工、積土のう工などの各種水防工法について学んだ。



#### ○消防団(水防団)員の合同水防工法訓練への参加

近年の風水害被害の多発化、激甚化に対応するため、磐田市、袋井市、森町の3団合同による、水防工法訓練を行った。訓練では、積土のう工や月の輪工、土のうこしらえ工など計3工法について実演した。本取り組みは来年度以降も継続して行っていく。



#### ○重要水防箇所及び水防倉庫の巡視

洪水発生時の迅速かつ的確な水防活動に備え、袋井土木事務所、太田川流域市町と合同で重要水防箇所と水防倉庫を巡視し、現況確認と資機材の数量等の点検を実施した。



#### ○雨水貯留施設の推進

河川改修のみでの浸水被害の軽減は難しいため、市内の小中学校で校庭に雨水を一時的に貯める「校庭貯留」や「公園貯留」施設整備にも取り組んでいる。



整備前



整備後

【校庭貯留(浅羽北小学校)】

# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

袋井市

## ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■確実な避難指示の発令に向けた取組	避難判断マニュアルの確認	避難判断マニュアルの更新 ホットライン体制の維持 等		
	■避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	避難に関する意見交換会の実施 等			
	■要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の推進	要配慮者支援施設の管理者を対象とした防災情報等の提供及び理解促進 等		
	■水害リスク情報等の共有に向けた取組	中小河川に対応した洪水・内水ハザードマップの作成	想定最大規模降雨の洪水・内水に対応した浸水ハザードマップの周知 等		
	■自主防災体制の強化	防災隊長会議における講話	自主(連合)防災隊長会議等における研修会の実施		
	■水災害教育の充実	気象台の講話を実施	出前講座・ワークショップの実施 防災ガイドブックの周知・更新等		
	■避難行動を促す取組	改修した気象観測システムによるリアルタイム情報の提供	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供 マイ・タイムラインの研修会の実施		
	■円滑で確実な避難に資する情報発信	登録制メール配信サービス登録者向上の取組み	登録制メール配信サービスの周知・啓発		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	消防(水防)団員確保の取組み	消防(水防)団員の確保に向けた広報活動・PRの実施等		
	■氾濫水を迅速に排水するための取組		地域が有するポンプの性能検査の継続的实施		
	■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	雨水貯留施設整備、準用河川改修(松橋川・中沢川)、雨水ポンプ場整備	河川整備計画等に基づく着実な治水対策の推進		
	■河川における機能の確保	浚渫工事の実施(3河川)	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全、河川管理の高度化の検討		
	■施設能力を上回る洪水への対応				
	■被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		土のうステーションの運営・整備		
	■河川管理施設の整備等に関する事項				
	■被害対象を減少させる対策	立地適正化計画の見直しのための基礎調査実施	立地適正化計画における防災指針の記載(都市計画区域内)、宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明		

## ●令和8年度の取組予定

### ■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

自らの地域は自らの手で守る！という気持ちで活動している消防(水防)団員の確保を行い、継続的な水防活動体制の持続を図るため、消防(水防)団員数増加の取組を実施します。

- ・袋井市消防団組織最適化検討会による組織最適化の検討
- ・市内イベント出展等によるPR活動 など

### ■避難行動を促す取組(浸水実績等の周知)

住民自身の避難行動を促す取組として、過去の浸水実績図を整備し、住民や転入者が水害リスク情報を容易に取得できるよう、市ホームページへの掲載方法の改善や、アクセス性の向上に取り組んでまいります。

# 【湖西市】 取組報告 (R7の取組内容)

- 令和7年度は、出水期前に水防体制の強化を図る目的で実施している「水防訓練」、地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る目的で実施している「防災出前講座」、地域住民に確実かつ迅速な情報を提供するため「情報伝達手段の多元化」等に取り組んでいる。

## ● 主な取組内容(R7年度)

### ○ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

令和7年5月に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団との共同で水防訓練を実施。



土のう積み訓練



チェーンソー訓練

### ○ 避難行動を促す取組

防災出前講座を活用し、防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図った。一部講座では、地域防災指導員が講師を行っている。



### ○ 円滑で確実な避難に資する情報発信

ウェブサイトや「防災ほっとメール」、湖西市公式LINEアカウントやX、Facebookなどを活用し、災害情報を提供。

その他、防災ほっとメール登録者数拡大に向けた広報紙等による周知、啓発を実施。



### ○ 河川における機能の確保

市が管理する河川について、堆積土砂の浚渫及び樹木伐採を行い河川機能の健全性を確保した。



整備前



整備後

※R5年度時点の取組結果(予定含む)を整理したものであるが、進捗状況によって変更の可能性がある

# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

湖西市

## ●今後5カ年のロードマップ

項目	令和7年度	取組実績		取組予定		対象外	
		令和8年度	令和9年度～	令和8年度	令和9年度～	令和8年度	令和9年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	気象台と静岡県との連絡体制の確認を行った	ホットライン体制の構築及び検証、避難勧告等発令の判断・伝達マニュアルの検証等				
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	4月に自主防災会に対し説明会を実施し情報提供を行った	情報伝達手段の多元化・通信機器の更新、地域住民に確実かつ迅速な情報の提供等				
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	防災研修会等への出席を働きかけた	確実な避難体制の確保のための避難確保計画に基づく避難訓練の実施等				
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	自主防災会等に対し、情報提供をした	防災出前講座を活用した水害危険性の周知促進				
	■ 自主防災体制の強化	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	自主防災会が継続的かつ適切に運営されるための情報提供や体制・活動の支援				
	■ 水災害教育の充実	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座を活用した水害（防災）教育の拡充・支援体制の構築				
	■ 避難行動を促す取組	防災意識の高揚、地域防災力の向上を図るため出前講座の実施	防災出前講座等を活用した住民向け防災情報の説明会・訓練の充実				
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	HPや防災ほっとメール、LINEなどSNSを活用し災害情報を提供	避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供等				
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	5月に地域の消防団と共同で水防訓練を実施	水防団員に対する教育・訓練（水防工法の伝承、安全教育など）の実施等				
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	9月1日に情報伝達訓練で建設会社の保有するポンプの状況を確認	地域が有するポンプ等（消防や建設会社）の活用に向けた情報の整理と共有				
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進						
	■ 河川における機能の確保	地元要望等により堆積土砂を確認した箇所を管理者へ報告	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全				
	■ 施設能力を上回る洪水への対応						
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備						
■ 河川管理施設の整備等に関する事項							
■ 被害対象を減少させる対策							

## ●令和8年度の取組予定

### ■ 水防体制の強化を図る 水害リスクの高まる出水期前に水防訓練を実施する

出水期前に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、市の水防班と地域の消防団が共同で水防訓練を継続して実施。



### ■ 地域の防災意識の向上を図る 防災出前講座の継続的な実施により災害への備えを強化する

更なる防災意識の向上及び地域防災力の強化を図るため、地域防災指導員と連携した防災出前講座を継続して実施。



## 【御前崎市】 取組報告（R7の取組内容）

- 令和7年度は、「土のうの配備と水防活動を行っている御前崎市消防団との風水害対策活動」「水防活動や緊急復旧活動に活用する資機材の導入」「防災アプリの周知普及」「洪水ハザードマップの作成」等に取り組んでいる。
- 今後も引き続き、自治会と協力して検討を進め、日ごろからの水防対策や水防訓練に関して啓発を行っていく。

### ● 主な取組内容(R7年度)

#### ○土のうの配備と水防活動を行っている御前崎市消防団との風水害対策活動

台風や豪雨時の河川の氾濫に備えるため、市内に土のうステーションを新たに3か所設置。

設置に伴う作業として、水防活動している御前崎市消防団と土のう作成等の計画を予定していたが、天候不良により中止となった。



#### ○水防活動や緊急復旧活動に活用する資機材の導入

水防活動や緊急復旧活動に活用する資機材(土のうの固定などに使用する杭木や掛矢、水防用はしご、照明器具など)を地区の防災倉庫等に設置した。



#### ○防災アプリの周知普及

災害時に確実かつ迅速な情報を提供するため、情報伝達に活用する防災アプリを令和5年度に導入。

防災アプリでは、災害情報や同報無線放送の内容、避難所の情報など確認することができる。

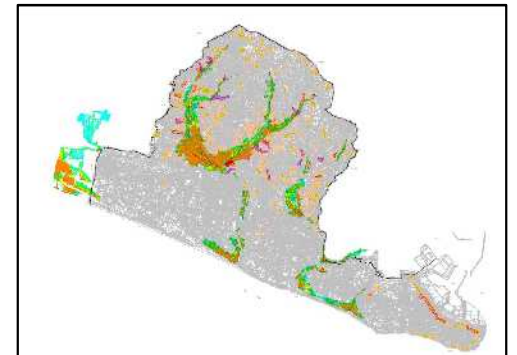
今年度も、SNSやチラシ、町内会への説明会、出前講座等で防災アプリの周知を及び普及を図った。



#### ○洪水ハザードマップの作成

県による洪水予報河川、水位周知河川以外の洪水浸水想定区域図の公表を受け、対象10河川の一体的な洪水ハザードマップを作成した。

今後、市民へのハザードマップ配布と内容の周知を行う。



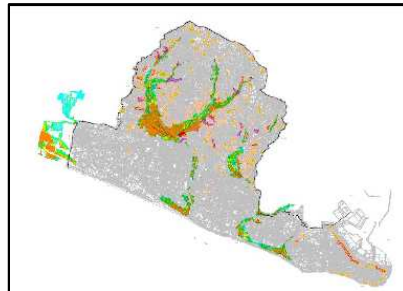
●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	連絡体制と発令基準の見直し	非常時の連絡体制や避難指示の発令基準についての見直し 等	
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	マニュアルの修正	対応行動整理表やマニュアル等の見直し 等	
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	訓練実施等に関する依頼	要配慮者施設で作成している避難計画の見直しや訓練の実施の推進 等	
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	情報連絡体制の見直し	情報連絡体制の見直しや新たな連絡体制の構築について検討 等	
	■ 自主防災体制の強化	関係自主防災会の水防体制の見直し	自主防災会との協議による、連携強化のため今後の水防体制の見直し 等	
	■ 水災害教育の充実	防災学習での講義の実施	防災学習や防災に関する講演会などの開催を通して、水災害についての啓発 等	
	■ 避難行動を促す取組	避難行動マニュアルの作成の推進	防災についての知識の取得の促進や避難行動についてのマニュアルなどの作成 等	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報発信方法の検討及び見直し	情報発信方法の見直しや御前崎市のSNSなどを活用した新規の情報発信方法について検討 等	
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	他市の水防訓練の見学会の実施	定期的な水防に関する勉強会や水防訓練の開催 等	
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		排水に関する設備の検討や関係機関との排水計画に関する協議 等	
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進		河川計画に基づく治水対策の継続実施 等	
	■ 河川における機能の確保	協力体制の見直し	河川管理者との協力体制の見直しや市としての対応の検討 等	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応			
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備			
■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策	指導員等と意見交換会を実施	指導員等と安全なまちづくりのための協議や検討 等		

●令和8年度の取組予定

■洪水ハザードマップを使った水害リスクの周知活動

令和7年度に作成した洪水ハザードマップについて、防災講座等での説明を行い、水害リスクや災害への備えを市民へ周知する。



■水防活動を行っている御前崎市消防団に対しての教育・訓練の実施

実働を行う御前崎市消防団との協議を進め、今後につながる実働的な水防訓練の協議を行うとともに、水防活動に必要な知識の習得を目指す。



## 【菊川市】 取組報告 (R7の取組内容)

- 令和7年度は、「ハザードマップの周知」「出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発・作成支援」「要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・更新支援」等に取り組んでいる。
- 今後は、関係機関との連携及び流域治水プロジェクトと連携した取組を継続実施していく。

### ● 主な取組内容(R7年度)

#### ○令和7年6月 水防団との水防訓練を実施

令和7年6月に、水防体制の強化並びに水防工法の技術向上を図るため、水防団、地元防災役員、消防署及び自衛隊と水防訓練を実施。



#### ○出前講座等によるマイ・タイムラインの普及啓発、作成支援

ハザードマップの周知による、自宅等の水害リスクを認識すると同時に、マイ・タイムライン・わたしの避難計画の普及啓発・作成支援をし、住民の水害への防災意識の向上を図った。また、専門的な知識を持つ「防災士」と連携した普及啓発を実施。



ハザードマップ マイ・タイムライン わたしの避難計画 住民(中学生)への出前講座

#### ○市内における田んぼダムの推進

川西地区6.76haに対し、田んぼダムの取組を実施。

棚草地区及び下平川地区において、多面的機能支払交付金活動組織へ取組への協力依頼及び現地調査を実施し、取組区域を選定。



#### ○貯留施設の整備の検討

市南部地域の浸水対策として、令和6年度末に黒沢川流域の校庭貯留施設を整備。また、令和7年度に棚草川遊水地(農地)の実施設計業務を実施。



校庭貯留施設



農地への貯留施設

### ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■確実な避難指示の発令に向けた取組	避難情報の判断・伝達マニュアルの見直しの実施	洪水対応演習への参加、「避難情報の判断・伝達マニュアル」の見直し等	
	■避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン及び対応行動整理用表活用の実施	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・多言語化・方法について検討	
	■要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への啓発及び支援の実施	施設管理者への啓発・支援を実施	
	■水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの周知の実施	ハザードマップの周知・県管理河川の浸水想定図作成に伴う見直し、周知方法の検討	
	■自主防災体制の強化	自主防災組織への出前講座の実施	出前講座等による周知啓発	
	■水災害教育の充実	出前講座の実施及びハザードマップの配布	学校における防災教育、出前講座等を実施	
	■避難行動を促す取組	マイ・タイムライン・わたしの避難計画及び防災メールの普及啓発の実施	出前講座等によるマイ・タイムライン・わたしの避難計画の推進、防災メール「茶こちゃんメール」の普及啓発	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線・防災メール・SNS等を活用した情報発信の実施	同報無線や防災メール「茶こちゃんメール」、SNSを活用した円滑な情報発信の実施	
	■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	河川合同巡視への参加及び水防訓練の実施	重要水防箇所の合同巡視への参加、水防訓練の実施	
	■氾濫水を迅速に排水するための取組	消防で所持するポンプ車等の状況把握の実施	地域が有するポンプ等の活用に向けた状況把握を実施	
	■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	貯留施設等の整備計画の策定	河川整備計画に基づいた治水対策及び要望活動を継続実施	
	■河川における機能の確保	河川管理者との連携の実施	河川の状況把握及び河川管理者との適切な情報共有を実施	
	■施設能力を上回る洪水への対応			
	■被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	河川防災ステーションを水防活動拠点の活用の実施	水防活動拠点としての河川防災ステーションの活用	
	■河川管理施設の整備等に関する事項			
■被害対象を減少させる対策	市内における田んぼダムの推進	市内における田んぼダムの推進		

### ●令和8年度の取組予定

#### ■避難行動を促す取組

マイ・タイムライン・わたしの避難計画の推進のため、防災士と連携した出前講座等の実施

水害リスクの再認識と、早期の避難行動を図るための取組として、マイ・タイムライン・わたしの避難計画の作成支援等の普及啓発を専門的な知識を持つ防災士と連携し、出前講座や学校教育等において実施する。



#### ■市内における田んぼダムの推進

県営事業川西地区における田んぼダムの推進及び多面的機能支払交付金活動組織への田んぼダムの推進



## 【森町】 取組報告（R7の取組内容）

- 令和7年度は、自主防災会を中心とした防災連絡会や出前講座を実施し、防災意識の高揚を図った。
- 全世帯に小規模河川の浸水データを反映させた森町防災ハザードマップを配布した。
- 水防体制の強化と技術向上を図るため、水防工法訓練を行った。

### ● 主な取組内容(R7年度)

#### ○ 自主防災会を中心とした防災連絡会を実施

令和7年6月に自主防災会、消防団、学校関係者等を対象に防災意識の高揚と防災情報の共有を目的とした防災連絡会を実施しました。

講師をまねいて講演を行い、その後実際に避難所の設営及び運営を想定した資機材の取り扱い訓練を行った。

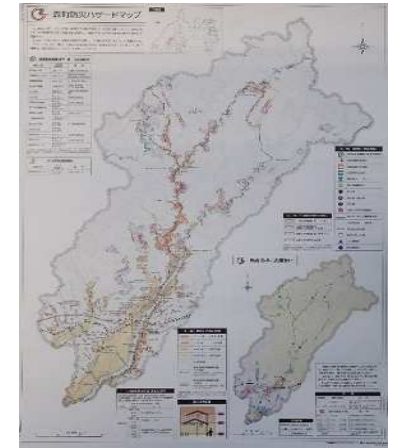


自主防と消防団によるテント設営の様子  
(令和7年6月15日)

#### ○ ハザードマップの配布

町内を流れる小規模河川のデータを新たに反映させたハザードマップを作成した。

想定し得る最大規模の降雨(1000年に1度の確率)に伴う洪水により、想定される浸水区域及び水深を表示した。



森町防災ハザードマップ

#### ○ 水防工法訓練の実施

森町の水防体制の強化と技術向上を図るため、出水期前に水防工法訓練を磐週の消防団合同で実施をした。

基本的な土のう作成とシート張り工法、積土のう工法を習熟した。

今年度は、森町内の太田川親水公園が会場となった。



土のう作成の様子  
(令和7年5月18日)

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組		洪水・水害対応訓練の実施。避難発令マニュアルの見直し 等		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定		初動対応マニュアルの見直し 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難計画の更新・訓練の勧奨を実施	施設管理者への計画更新、訓練実施の推進 等		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組		河川管理者への監視カメラ増設、適所設置の要望 等		
	■ 自主防災体制の強化	出前講座、防災連絡会等での講話を実施	水害リスクの高い地域等に対する情報提供、防災講座の実施 等		
	■ 水災害教育の充実	防災意識の高揚を図るための出前講座の実施	出前講座、セミナー、講習会の実施 等		
	■ 避難行動を促す取組	自主防災会への説明会を実施	自主防災会を対象とした説明会の実施 等		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	同報無線・防災メール・SNS等を活用した情報発信の実施	ハザードマップ、防災ガイドブックの更新、マイタイムライン、わたしの避難計画の活用 等		
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団による他市の水防演習の参加・水防講習会の実施	水防団員に対する教育・訓練の実施 等		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		排水ポンプの運用・管理 等		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進				
	■ 河川における機能の確保		河道掘削及び支障木竹の伐採実施		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応				
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		土のうステーションの運営・管理		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項					
■ 被害対象を減少させる対策					

●令和8年度の取組予定

■ハザードマップを活用した避難計画作成の推進

令和7年度に全世帯配布したハザードマップを活用した「わたしの避難計画」作成を推進する。



■水防体制の強化に向けた取組

水防体制の強化と技術向上を図るため、出水期前に水防工法講習会を継続して実施する。



- 令和7年度は、「わたしの避難計画」の普及、防災アプリ「静岡県防災」による自主防災体制の強化、「ふじのくに防災士養成講座」の実施、気象防災WSの実施等に取り組んでいる。
- 今後、水害リスク情報の共有による確実な避難の確保に向け、支援方策を継続実施していく。

## ● 主な取組内容(R7年度)

### ○「わたしの避難計画」の普及

- ・「わたしの避難計画」の普及を図るため、静銀相談ラウンジにおけるわたひな作成ブースの出展、医大祭、静大祭での啓発、静岡県立大学防災訓練での作成講座等を実施。
- ・「わたしの避難計画」の作成をサポートする「わたひな普及員」を養成する講座を市町向けに実施し、更なる普及を促進。



静銀相談ラウンジにおける  
ブース出展  
(令和7年9月13日)



静岡県立大学での作成講座  
(令和7年11月12日)



わたひな普及員養成講座  
(令和7年8月25日)

### ○「ふじのくに防災士養成講座」の実施

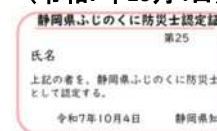
- ・防災に関する専門的知識を習得し、防災現場のリーダーとして活躍できる人材を養成するため、平成17年度から開講している。
- ・今年度は対面講座とオンライン講座を設定し、272人の修了者に知事認証を付与した。



令和7年度ふじのくに防災士養成講座Aコース  
(令和7年9月4日)



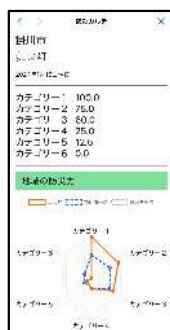
実習(避難所運営ゲームHUG)  
(令和7年10月4日)



静岡県ふじのくに防災士認定証

### ○防災アプリ「静岡県防災」による 自主防災体制の強化

- ・自主防災組織の点検及び現状把握を目的とした「防災カルテ」の普及。
- ・「避難所運営支援機能」等を活用した自主防災組織の活動支援。
- ・災害の情報や避難所の情報を自主防災組織からいち早く得ることを目的とした「防災モニター(災害状況投稿)」の普及。



(防災カルテ)



(災害状況投稿)

### ○気象防災ワークショップの実施

- ・土砂災害と中小河川の洪水災害への対応を中心に、気象庁などから提供される様々な情報を参照しながら、グループで、体制の強化や避難勧告等の発令のタイミングなどについて検討し、発表した。また、各市町の土砂災害警戒情報等への対応への課題や、改善のための施策について議論した。



(令和7年5月13日)

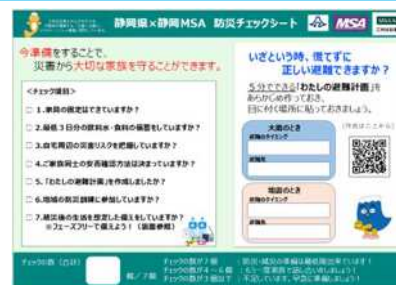
## ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■確実な避難指示の発令に向けた取組	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言	避難指示等発令の判断、マニュアル作成・検証に関する助言		
	■避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムライン導入や検証に関する助言	タイムライン導入や検証に関する助言		
	■要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言	避難確保計画の作成、避難訓練の実施に関する助言		
	■水害リスク情報等の共有に向けた取組	ハザードマップの作成・周知に関する助言	ハザードマップの作成・周知に関する助言		
	■自主防災体制の強化	防災カルテ、避難所支援機能等を活用した自主防災組織の支援	防災カルテ、避難所支援機能等を活用した自主防災組織の支援		
	■水災害教育の充実	「ふじのくに防災士」の養成	「ふじのくに防災士」の養成		
	■避難行動を促す取組	「わたしの避難計画」サイト改修・作成講座、「マイ・タイムライン」普及の助言	「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」の普及		
	■円滑で確実な避難に資する情報発信	投稿機能の運用、情報発信	防災アプリ「静岡県防災」等、民間と連携した防災情報発信		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組				
	■氾濫水を迅速に排水するための取組				
	■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進				
	■河川における機能の確保				
	■施設能力を上回る洪水への対応				
	■被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備				
	■河川管理施設の整備等に関する事項				
	■被害対象を減少させる対策				

## ●令和8年度の取組予定

### ■「わたしの避難計画」、 「マイ・タイムライン」について 引き続き普及を図っていく

市町・民間企業・大学等と連携し引き続き普及を図っていく。民間企業のコンテンツを活用した啓発や、民間企業・地域が実施する防災訓練での活用の呼びかけを実施していく。



静岡県 × 静岡MSA  
防災チェックシート

### ■防災アプリ「静岡県防災」 等、民間事業者と連携した 防災情報の発信

民間事業者の防災ツールと連携し、県の防災情報を分かりやすく発信する。また、防災アプリ「静岡県防災」を活用し、防災カルテや避難所支援機能、防災モニター等を普及啓発し、市町及び自主防災組織の利便性向上を図る。



防災アプリ「静岡県防災」

- 令和7年度は、個別避難計画の市町取組支援として、「アドバイザー派遣制度」「市町意見交換会」「市町フォローアップ訪問」「取組報告会」の実施等に取り組んでいる。
- 今後、要配慮者の避難支援体制確保に向け、支援方策を継続実施していく。

## ●主な取組内容(R7年度)

### ○「アドバイザー派遣制度」の実施

・「個別避難計画」の取組を後押しするため、アドバイザー派遣を実施し、依頼のあった市町に個別避難計画に精通した専門家や市町職員等を派遣。



案内チラシ

#### ○派遣実績

西伊豆町 :6/6 民生・児童委員等研修会  
 伊東市 :6/28 伊東市他職種連携研修会  
 函南町 :8/8 町民児協 定例会  
 焼津市 :8/20 市民児協 定例会  
 掛川市 :9/28 福祉避難所開設訓練

#### ○アドバイザー

・静岡県立大学短期大学部社会福祉学科  
 准教授 江原勝幸氏 他

### ○「市町意見交換会」の実施

・市町行政(防災部局、福祉部局)、福祉専門職を対象に、個別避難計画作成に係る課題等について共有・意見交換し、避難行動要支援者の支援を今年度以降においても着実に実施することを目的に開催。



賀茂会場意見交換会の様子(令和7年6月26日)

#### ○開催実績

中部会場:6/17 24名  
 東部会場①:6/19 30名  
 東部会場②:6/23 27名  
 賀茂会場:6/26 21名  
 西部会場:7/4 35名  
 計137名参加

#### ○アンケート結果

参加者の約9割から満足・やや満足と回答を得た。

### ○市町フォローアップ訪問の実施

・市町の取組状況を把握し、フォローアップをするため、市町役場を訪問  
 ・18の市町を訪問し、顔の見える関係を構築することができた。  
 ・実際に訪問したことで県側の熱意を伝えることができ、取組の後押しにつながった。

#### ○対面

磐田市、袋井市、森町 等  
 計18市町

#### ○オンライン

西伊豆町

フォローアップした市町

### ○取組報告会の実施

・今年一年の成果を共有するため、取組報告会を3/12に実施。  
 ・内閣府や御前崎市、牧之原市から先進事例を紹介いただくなど、参加市町のより一層の取組促進を図った。



今年度実施の様子  
 (令和8年3月12日)

## ●今後5カ年のロードマップ

項目	令和7年度	令和8年度	取組実績		取組予定		対象外	
			令和7年度	令和8年度	令和7年度	令和8年度	令和7年度	令和8年度
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組							
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定							
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組			指導監査での助言、福祉施設等職員向け防災研修会の実施		指導監査での助言、福祉施設等職員向け防災研修会の実施		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組							
	■ 自主防災体制の強化							
	■ 水災害教育の充実							
	■ 避難行動を促す取組			「個別避難計画」作成の取組支援		「個別避難計画」作成の取組支援		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信							
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組							
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組							
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進							
	■ 河川における機能の確保							
	■ 施設能力を上回る洪水への対応							
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備							
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項							
■ 被害対象を減少させる対策								

## ●令和8年度の取組予定

### ■ 避難行動を促す取組 要配慮者の命を守る 「個別避難計画」について 市町の取組を支援

引き続き意見交換会や県作成の広報ツールを活用し、市町の取組を支援していく。また、市町を訪問して取組状況をヒアリングするなど伴走支援を強化していく。



県で作成した広報ツール

### ■ 要配慮者施設における 確実な避難に向けた取組 指導監査での助言・研修

- ・引き続き、社会福祉法等に基づく指導監査において、防災管理体制等を確認、指導していく。
- ・施設の防災対策力を高めることを目的に、施設職員向けの研修を実施する。



社会福祉施設等職員防災研修会

- 令和6年2月に公表した「新たなステージに入った水災害に対する取組～令和4年台風第15号と令和5年台風第2号の教訓を踏まえて～」に示した「重点対策(29項目)」をロードマップに従い重点的かつ緊急的に実施していく。
- 令和7年度は、地域防災力向上に関する市町の取組を支援するため、市町職員を対象に研修会や意見交換会を開催した。
- 水害リスクや「流域治水」に関する情報をわかりやすく発信するため、洪水浸水想定区域図を静岡県GISに掲載するとともに、水害リスク情報や避難方法等をテーマとした動画を公開している。

## ● 主な取組内容(R7年度)

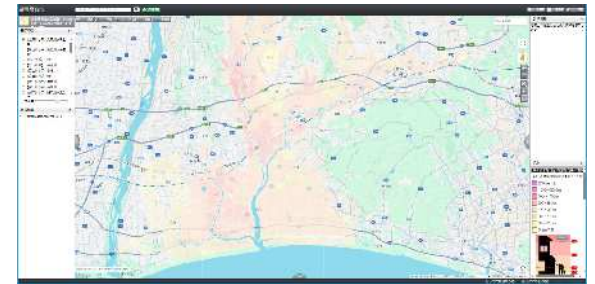
### ○市町防災職員向けの研修会・意見交換会を開催

地域防災力向上に関する市町の取組を支援するため、市町職員を対象に河川事務等の研修会や意見交換会を実施した。

- ・水害・土砂災害防止対策の推進に関する意見交換会 (令和7年5月16日)
- ・河川関係事務研修会(令和7年10月27日)

### 水災害リスクや「流域治水」に関するわかりやすい情報発信

- ・令和6年度までに作成・公表した洪水浸水想定区域図を流域住民にわかりやすく発信するため、静岡県GISに掲載した。



太田川水系の洪水浸水想定区域の表示(静岡県GIS)

- ・水災害リスク情報や避難方法等をテーマとした「事前に備える防災講座」をYouTube(ユーチューブ)で公開し、ウェブサイト等にて流域治水に係る取組の紹介等の広報活動を行っている。



- ★ 令和2年度から実施  
現在9本の動画を公開
- ★ 継続して動画を作成



# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

県 河川企画課

## ●今後5カ年のロードマップ

項目	令和7年度	取組実績		取組予定		対象外
		令和7年度	令和8年度	令和7年度	令和8年度	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組					
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定			県管理河川のダム機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知 等		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組					
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組			浸水想定区域を静岡県GIS等への掲載等による周知		
	■ 自主防災体制の強化					
	■ 水災害教育の充実			しぞ〜か防災かるた【豪雨の備え編】を活用した学習環境の整備	効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ情報や、浸水リスクを周知するための啓発資料の作成・活用	
	■ 避難行動を促す取組			「事前に備える防災講座」としてマイタイムラインを紹介する動画をYouTubeで公開	マイ・タイムラインの推進	
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信					
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組					
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組					
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進					
	■ 河川における機能の確保			河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全 等	
	■ 施設能力を上回る洪水への対応					
	■ 被害軽減のための迅速かつ確かな水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
■ 河川管理施設の整備等に関する事項			事前放流の協定・マニュアルに基づく、確実な事前放流の実施	ダムの柔軟な運用		
■ 被害対象を減少させる対策					宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	

## ●令和8年度の取組予定

### ■水災害教育の充実・避難行動を促す取組

- ・「水防災意識」の再構築のため、しぞ〜か防災かるた【豪雨の備え編】の活用や浸水深パネル等の浸水リスクを周知するための啓発資料の作成に取り組む。
- ・小学校や中学校で防災教育を行っていただけるよう、教材等の充実等を図る。
- ・マイ・タイムラインの推進

### ■水害リスク情報等の共有に向けた取組

- ・「事前に備える防災講座」の作成・周知・活用
- ・YouTube動画の充実、出前講座等での周知・活用
- ・市町防災職員向けの研修会・意見交換会の開催
- ・水害危険性の周知促進（浸水ナビや静岡県GISに浸水想定区域の情報を掲載）等

- 前述に示した「重点対策(29項目)」をロードマップに従い重点的かつ緊急的に実施していく。
- 引き続き、当課対象の取組を継続するとともに、関係機関との連携を図り、支援方策を継続実施していく。

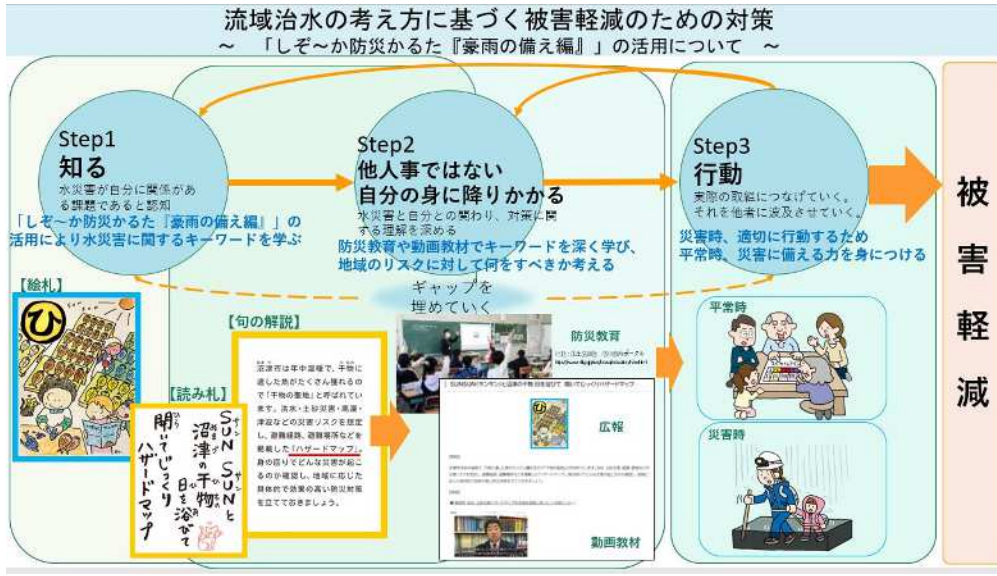
## ● 主な取組内容(R7年度)

### 【令和7年度に取り組んだ主な内容】

#### 出前講座や防災教育の強化

・県庁見学会や市町職員向け説明会等を活用し、水害リスクや防災情報について説明を行い、周知啓発を図った。

・あらゆる関係者が流域治水への理解や水災害を自分事化するきっかけとするために、「しぞ～か防災かるた 豪雨の備え編」を作成した。かるたを活用して主体的に学習できる環境を整備するとともに、学校教育現場での防災教材としての定着を目指し、県危機管理部や県教育委員会と連携し、普及を図った。



#### 洪水予報河川及び水位周知河川以外の その他河川(対象外河川除く)における洪水浸水想定区域の指定

・区域指定により義務化される市町のハザードマップ作成、周知を支援。今後も、引き続き支援していく。(その他河川の洪水浸水想定区域は、令和7年3月31日に指定)

#### 県内沿岸の高潮浸水想定区域の指定

・想定し得る最大規模の高潮に対する避難体制等の充実・強化のため、水防法に基づく高潮浸水想定区域を令和7年10月31日に県内すべての沿岸で指定した。今後は、区域指定に伴い義務化される市町のハザードマップ作成、周知を支援していく。

#### ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実

・出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全に期すことを目的に、県管理河川を対象とする洪水対応演習を実施した。

【訓練実施日時】  
令和7年5月28日  
8時30分～16時30分

(県水防本部：訓練状況)



### ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和7年度	令和8年度		
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習実施	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	支援体制継続	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	説明会等を実施	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成支援（説明会等）		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	観測データ蓄積、保守点検実施	危機管理型水位計・河川監視用カメラ等の設置検討、見直し、適切な保守点検を実施		
	■ 自主防災体制の強化	重要水防箇所等を水防計画書及び県GISにて公表	水害リスクが高い区間などに関する市町への情報提供と説明会の開催		
	■ 水災害教育の充実	県庁見学を実施	水害リスクを周知するため、引き続き出前講座や県庁見学を実施		
	■ 避難行動を促す取組	S I P O Sにて、雨量・水位等のリアルタイム情報の提供を継続	県庁見学会等を活用し、住民向けの防災情報の提供		
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	民間気象会社と包括連携協定を締結し、新たな防災体制の構築を目指す。	避難指定区域ごとのリスクレベルの提供（試行）、住民への防災啓発・避難行動支援としてマイ防災タイムラインの活用（試行）		
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防団の活動実績等の県HPへの掲載	水防訓練や水防演習等の実施による水防団等との連携		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	建設業者等のポンプ等の保有数を集計し、県関係者へ共有	地域が有するポンプ等（建設業者等）の活用に向けて、建設業者及び関係市町への情報共有		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進				
	■ 河川における機能の確保				
	■ 施設能力を上回る洪水への対応				
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	保守点検を実施し、適切に水位等の情報を関係機関へ提供、	円滑な水防活動のため量水標の設置検討（洪水予報河川及び水位周知河川を対象）保守点検を実施し、適切に水位等の情報を関係機関へ提供		
■ 河川管理施設の整備等に関する事項					
■ 被害対象を減少させる対策	関係部局と連携して、宅地建物取引業団体への水害リスク情報の提供	関係部局と連携して、宅地建物取引業団体への水害リスク情報の提供			

### ●令和8年度の取組予定

#### ■ 水災害教育の充実、避難行動を促す取組

- ・県庁見学等を活用し、水害リスクや情報の入手方法等を周知、啓発する。
- ・防災かるたを活用した防災教育を促進する。



（防災かるたを活用した水害に関する防災教育\_浜松蒲小学校）

#### ■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組

- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援として、避難確保計画の作成に至る経緯、必要性、訓練実施等について、市町関係職員等に説明会を実施する。（Webを活用した動画配信）
- ・市町が施設管理者等へ説明会を実施する際に、水害リスク情報について説明する講師を派遣し支援する。

- 住民自らが避難に資する防災情報を収集することを目的に、令和5年年度に新たな視点にたった河川監視カメラ及び水位計の設置を推進する目的で、管内市町からの設置要望を取りまとめた。令和7年度は、この要望に基づき、磐田市、袋井市及び御前崎市において、監視カメラを5箇所設置した。（年度末までに設置予定含む）
- 新たに完成した「しずぞーか防災かるた【豪雨の備え編】」を使って、管内の小学生を対象に、防災出前講座を実施。かるたを通じて、豪雨への備えと、県内の名所・名物を関連付けて、防災知識を育むことができた。

## ●主な取組内容(R7年度)

### ○水災害教育の充実

#### ●しずぞーか防災かるた【豪雨の備え編】を使った出前講座

##### 【実施内容】

・「静岡県の水辺の魅力や水災害に関する防災の心得」について、遊びながら学べることを重視した防災かるたを使った出前講座を開催。



防災かるたを使った出前講座

### ○地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組

#### ●水防訓練の参加

##### 【実施内容】

・管内市町が実施する水防演習に参加。訓練を通じて関係機関との連携を密にし、水防体制強化を目的とした。また、若手職員が水防実務に関する現場体験の貴重な機会として、訓練に参加。



R7.6.1 菊川市水防演習

### ○避難行動を促す取組

#### ●河川監視カメラの追加設置

##### 【実施内容】

・令和7年度は磐田市（敷地川）、袋井市（敷地川、沖之川、小笠沢川）及び御前崎市（新野川）において、住民自らが避難に資する防災情報を収集するための「河川監視カメラ」を新たに5箇所設置した。  
・このカメラ映像を実際の避難行動に役立てていく。



監視カメラ設置状況  
(沖之川)



沖之川(高塚橋)の状況を映すスマホの画面キャプチャ

### ○水害リスク情報等の共有に向けた取組

●袋井土木事務所1階に、想定水位と同じ高さとなるように「想定浸水深を表示」した。

##### 【実施内容】

・来庁者に対して、袋井土木事務所周辺の水災害リスクを認識できるよう、国土交通省の「浸水ナビ」を活用して、庁舎1階ロビーに浸水深を示す標識を設置した。  
・今後は、管内市町への横展開に向け、働きかけを行う。



庁舎1Fロビーに設置した標識

●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定			対象外		
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～	令和7年度	令和8年度	令和9年度～	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習の実施	洪水対応演習・ホットライン訓練実施 等							
	■避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定		必要に応じた情報通信機器の更新、避難マニュアル等の見直し支援 等							
	■要配慮者施設における確実な避難に向けた取組		施設管理者への説明会を適宜支援 等							
	■水害リスク情報等の共有に向けた取組	洪水浸水想定区域図の作成等	必要に応じた市町へのリエゾン派遣 等							
	■自主防災体制の強化									
	■水災害教育の充実	出前講座の実施 等	出前講座の継続実施 等							
	■避難行動を促す取組	監視カメラの設置	サイボスレーダーを活用した雨量・水位に係るリアルタイム情報の提供等							
■円滑で確実な避難に資する情報発信		サイボスレーダーの周知・普及 等								
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加	重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等							
	■氾濫水を迅速に排水するための取組		災害協定を締結する協力業者に対する保有機材調査及び管内市町への情報共有 等							
	■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	治水対策の加速化	河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等							
	■河川における機能の確保	河道掘削等の実施	河道掘削、樹木伐採等による河川流下能力の確保							
	■施設能力を上回る洪水への対応		粘り強い堤防化の推進（法肩ブロックの設置） 等							
	■被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		危機管理型水位計の設置 等							
	■河川管理施設の整備等に関する事項		事前放流の実施をはじめとする太田川ダムの柔軟な運用 等							
■被害対象を減少させる対策	L P 測量による土砂災害警戒区域の新規抽出	新規区域指定に向けた基礎調査 等								

●令和8年度の取組予定

■流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策を推進

「一雲済川」、「ぼう僧川・今之浦川」、「敷地川」、「袋井市中部3河川」の4流域を対象に策定した【水災害対策プラン】に基づく、河川改修と流域対策等を関係機関と連携して着実に推進していきます。



敷地川流域治水対策推進協議会

■水災害教育の充実  
出前講座の実施

学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充・支援体制の構築を継続的に行っていきます。



出前講座開催状況

- 小中学校で出前講座を開催し、過去の水害・土砂災害、洪水時のリスク、流域治水の取組等を学び、児童自らが水害に対し「自分ができること」を考えるきっかけづくりに取り組んだ。
- 水害時の水防業務を遅滞なく行うよう、管理河川の破堤を想定したタイムラインに基づくシナリオ読み上げ訓練を実施し、水防業務の手順等を確認した。

## ●主な取組内容(R7年度)

### ○学校と連携した水災害(防災)教育の取組

小中学校の出前講座の要請を受け、学校側と相談しながら講座内容を検討し、リスクコミュニケーションを行った。



八幡中学校出前講座(R7.6.18)



笠井小学校出前講座(R7.10.17)



附属小学校出前講座(R7.10.30)



蒲小学校出前講座(R7.11.04)

### ○管理河川の破堤を想定したシナリオ読み上げ訓練を実施

土木技術職員の水防班長を対象にタイムラインに基づくシナリオの読み上げ訓練を実施した。

読み上げ訓練(R7.5.20)



## ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績		取組予定	対象外
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～	
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習等を実施	ホットラインや洪水対応演習等の情報伝達訓練の充実		
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	タイムラインに基づく訓練を実施	タイムラインの導入の推進及び訓練による検証、職員誰もが水害対応できるチェックリストの作成		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	老人ホームにてセニアカーを活用した避難訓練への参加	施設管理者等への理解促進		
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組		危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画の整備及び見直しの実施、水害危険性の周知促進		
	■ 自主防災体制の強化				
	■ 水災害教育の充実	小中学校へへの出前講座を実施	学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充・支援体制の構築		
	■ 避難行動を促す取組	小中学校へへの出前講座を実施	雨量や水位に係るリアルタイム情報の提供、出前講座等を活用した住民向けの防災情報の説明会・訓練の充実		
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	水害時の情報入手のしやすさ・分かりやすさを支援するための広報活動の実施			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防資材のストックヤード整備の計画・検討	水防活動や緊急復旧活動に活用する資材の充実の検討		
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組		排水ポンプ車出動要請の連絡体制を整備し、排水計画に基づく排水訓練を実施		
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	河川整備計画・水災害対策プランに基づく治水対策の実施	河川整備計画等に基づく治水対策の着実な推進		
	■ 河川における機能の確保	井伊谷川・気田川等で河道掘削を実施	河川内の堆積土砂撤去や樹木伐採等による流下能力の保全		
	■ 施設能力を上回る洪水への対応		粘り強い堤防化の推進 等		
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備		円滑な水防活動のため橋脚等への簡易水位計・量水標設置		
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項		都田川ダムの柔軟な運用		
	■ 被害対象を減少させる対策	出前講座を実施	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（出前講座、マイ・タイムライン、避難訓練等）		

## ●令和8年度の取組予定

### ■水災害教育の充実

#### 「伝わる」ことに主眼を置いた出前講座の開催

- ・小中学校からの出前講座の要請を受け、企画段階から参加者の意向等を確認し、「伝わる」講座内容を提案する。
- ・「防災かるた」等のツールを活用し、受講者が家庭や地域に「伝え」、水災害教育の普及が進むよう工夫する。



### ■確実な避難指示の発令に向けた取組

#### 中小河川破堤対応のシナリオ読み上げ訓練を実施

- ・水害時の水防業務を遅滞なく行うよう、タイムラインに基づくシナリオ読み上げ訓練を実施する。
- ・出水期前に、管内市等の関係機関との連携を確認し、水害時に遅滞なく水防業務を行う。



# 【気象庁 静岡地方気象台】 取組報告（R7の取組内容）

- 令和8年出水期からの防災気象情報の体系整理による情報改善に向けて、関係機関に改善内容について周知を行った。
- 小・中学校の児童・生徒又は自治体職員を対象に、防災気象情報の利活用に資するワークショップや出前講座を実施した。
- 引き続き、予報技術の向上を行い、適時適切な防災気象情報の発表に努め、関係機関の防災支援を行う。

## ● 主な取組内容(R7年度)

### ○ 住民等に避難の切迫性が確実に伝わる情報提供に関する取組

令和8年出水期からの防災気象情報の体系整理による情報改善に向けて、新情報への円滑な移行ができるよう自治体等の関係機関が出席する様々な会議体の場などを通じて周知を行った。また、新たな防災気象情報の発表基準を市町に協力してしてもらい作成している。

なお、新しい防災気象情報では、以下の変更・改善により、受け手側の立場に立ったシンプルでわかりやすい情報となる予定。

- ・5段階の警戒レベルにあわせて、情報体系及び名称を整理
- ・警戒レベル4に相当する「レベル4〇〇危険警報」の新設

現行	洪水等に関する情報			土砂災害に関する情報	高潮に関する情報	
	洪水予報河川、水位周知 河川の外水氾濫	その他河川の外水氾濫 、湧水型内水氾濫	内水氾濫			
	発報単位 河川ごと	市町村ごと	市町村ごと			
警戒レベル相当情報	5	氾濫発生情報	—	大雨特別警報	大雨特別警報	高潮氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難>						
	4	氾濫危険情報	—	—	土砂災害警戒情報	高潮特別警報、高潮警報
	3	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (洪水水害) 大雨注意報	大雨警報 (土砂災害)	高潮に切迫する可能性が高い 高潮注意報
	2	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	大雨注意報	高潮注意報
※ 警戒レベル相当情報としての位置づけなし						
改善後	洪水に関する情報 「洪水危険度」		大雨に関する情報 「大雨危険度」		土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
	洪水予報河川の外水氾濫		内水氾濫及び 左記以外の河川の外水氾濫			
	発報単位 河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	市町村ごと		
警戒レベル相当情報	5	レベル5氾濫特別警報	レベル5大雨特別警報	レベル5土砂災害特別警報	レベル5高潮特別警報	
<警戒レベル4までに必ず避難>						
	4	レベル4氾濫危険警報	レベル4大雨危険警報	レベル4土砂災害危険警報	レベル4高潮危険警報	
	3	レベル3氾濫警戒警報	レベル3大雨警戒警報	レベル3土砂災害警戒警報	レベル3高潮警戒警報	
	2	レベル2氾濫注意報	レベル2大雨注意報	レベル2土砂災害注意報	レベル2高潮注意報	

### ○ 関係機関と協力・連携した普及啓発活動の実施

自治体の防災担当者を対象とした出前講座に加え、自治体職員などを対象に、気象情報に基づいて災害発生時の避難判断などを模擬体験する学習プログラムである「気象防災ワークショップ」を西部地域局と連携して実施した。



### ○ 学校などと連携した洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育

小・中学校の児童・生徒を対象とした防災教育の出前講座を実施した。また、大雨時に気象台当から発表される防災気象情報に基づく避難行動(警戒レベル)を疑似体験する「気象庁ワークショップ」を実施した。



# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

気象庁 静岡地方気象台

## ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定	対象外
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～		
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等	洪水対応演習、ホットライン訓練実施 等			
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等	洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等			
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	施設管理者への説明会を適宜実施 等	施設管理者への説明会を適宜実施 等			
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	気象庁HPの改善 等	気象庁HPの改善 等			
	■ 自主防災体制の強化	自主防災組織への説明会を適宜実施 等	自主防災組織への説明会を適宜実施 等			
	■ 水災害教育の充実	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等	ワークショップ・出前講座を適宜実施 等			
	■ 避難行動を促す取組	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等	気象情報や防災に関する啓発活動を適宜実施 等			
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等	情報の見方や入手方法の啓発活動を適宜実施 等			
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	水防訓練への参加 等	水防訓練への参加 等			
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組					
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進					
	■ 河川における機能の確保					
	■ 施設能力を上回る洪水への対応					
	■ 被害軽減のための迅速かつ確実な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備					
■ 河川管理施設の整備等に関する事項						
■ 被害対象を減少させる対策						

## ●令和8年度の取組予定

### ■新たな防災気象情報の広報及び普及啓発

- 令和8年出水期から防災気象情報を大幅に変更・改善するため、改善後の防災気象情報について分かりやすいリーフレット等の広報資料を作成し、自治体等の関係機関や住民等への周知啓発を強化する。
- 風水害に対応する自治体の防災担当者の知識習得のため、新たな防災気象情報の読み解き方や利活用方法を習得するため、出前講座や気象防災ワークショップを実施する。
- 学校防災の支援として、小・中学校の児童・生徒を対象として気象庁ワークショップや出前講座を実施する。これにより、気象情報の意味、入手方法、利活用方法及びハザードマップの見方などを学んでもらうことで、大雨による災害から命を守るための防災教育を行う。

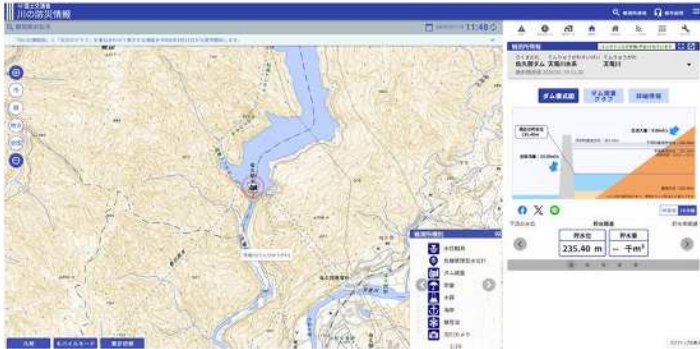
## 【電源開発】 取組報告（R7の取組内容）

- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを「川の防災情報」上で公開
- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を年1回実施
- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施
- ダムの機能や効果、操作に関する情報周知

### ●主な取組内容(R7年度)

#### ○住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供

- 天竜川水系(佐久間ダム・水窪ダム・秋葉ダム・船明ダム)のダム諸量データを「川の防災情報」上で公開している。



#### ○関係機関が連携した実働水防訓練の実施

- 秋葉ダム下流の西川地区において、防水門扉操作・排水設備操作の実働訓練を年1回実施している。

<令和7年度実績>

実施日: 令和7年5月13日

参加者: 龍山協働センター、地元住民、J-POWERグループ社員



(西川地区防災訓練)

#### ○ダムの柔軟な運用への協力

- 出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施している。  
(2025年8月前線性の降雨により、事前放流実施体制入り)

#### ○ダムの機能や効果、操作に関する情報を流域住民等へ周知

- 天竜川水系ダム放流説明会を2年に1回実施している。  
内容はダム設備概要、ダム放流の概要を説明し、ダム放流時の連絡先等  
を関係機関に周知している。  
令和7年度開催予定であったが、タイミングが合わず未開催となったため、  
次回は令和8年5月に開催を予定している。
- <至近実績(令和5年度)>  
実施日: 令和5年8月3日  
出席者: 国道交通省中部地方整備局、浜松市、磐田市、浜松市消防局、  
磐田市消防署、静岡県企業局西部事務所

# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

電源開発

## ●今後5カ年のロードマップ

項目	取組実績			取組予定	対象外
	令和7年度	令和8年度	令和9年度～		
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組				
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供（天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開（継続））	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供（天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開（継続））	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供（天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開（継続））	住民の避難行動につながるダム放流情報等の提供（天竜川水系ダム諸量データの川の防災情報への公開（継続））
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組				
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組				
	■ 自主防災体制の強化				
	■ 水災害教育の充実				
	■ 避難行動を促す取組				
■ 円滑で確実な避難に資する情報発信					
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	関係機関が連携した実働防災訓練の実施（西川地区防災訓練の開催（毎年））	関係機関が連携した実働防災訓練の実施（西川地区防災訓練の開催（毎年））	関係機関が連携した実働防災訓練の実施（西川地区防災訓練の開催（毎年））	関係機関が連携した実働防災訓練の実施（西川地区防災訓練の開催（毎年））
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組				
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進				
	■ 河川における機能の確保				
	■ 施設能力を上回る洪水への対応				
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備				
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	ダムの柔軟な運用への協力（天竜川水系（下流）洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用）	ダムの柔軟な運用への協力（天竜川水系（下流）洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用）	ダムの柔軟な運用への協力（天竜川水系（下流）洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用）	ダムの柔軟な運用への協力（天竜川水系（下流）洪水機能調節協議会への参画・事前放流実施要領に基づくダム運用）
■ 被害対象を減少させる対策					

## ●令和8年度の取組予定

### ■ダムの柔軟な運用への協力（継続）

- ・国土交通省が設置する天竜川水系（下流）洪水機能調節協議会に参画する。
- ・出水時において事前放流実施要領に基づくダム運用を実施する。

### ■関係機関が連携した実働水防訓練の実施（継続）

- ・関係機関と連携し、大規模出水を想定した西川地区の増水対策として防水門扉および排水設備の訓練を実施する。



西川地区防災訓練

## 【遠州鉄道】 取組報告（R7の取組内容）

- 重要施設（小松変電所・積志継電器室）の浸水対策の計画（建屋基礎部分の嵩上げによる浸水対策）
- R6年度に駅カメラ遠隔監視システムの導入を完了し、R7年度は浸水状況踏切カメラ監視システムのリニューアル検討

### ● 主な取組内容（R7年度）

#### 重要施設の浸水対策①

R7年度に自動車学校前変電所に浸水対策を実施した。  
R7年度は小松変電所、積志継電器室の浸水対策を検討。（R8年、R9年度完了の予定）

#### 小松変電所

- 建屋を移設新築の際、フロアレベル 1mに嵩上げを計画。



#### 重要施設の浸水対策②

#### 積志継電器室

- 建屋を移設新築の際、フロアレベル 1mに嵩上げを計画。



# 静岡県西部・中東遠地域大規模氾濫減災協議会 今後5カ年のロードマップ

遠州鉄道

## ●今後5カ年のロードマップ

項目	取組実績			取組予定	対象外
	令和7年度	令和8年度	令和9年度～		
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組				
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	各駅周辺の避難場所（自治体設定）の把握	HPIに自治体避難情報のURL掲載を検討		
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組				
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組				
	■ 自主防災体制の強化				
	■ 水災害教育の充実	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等配布の実施	西部中東遠地域減災協議会パンフレット等を活用し、駅構内スペース等での掲示・配布を予定		
	■ 避難行動を促す取組				
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信				
	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組				
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組				
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進				
	■ 河川における機能の確保				
	■ 施設能力を上回る洪水への対応				
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備				
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項				
■ 被害対象を減少させる対策					

## ●令和8年度の取組予定

### ■重要施設の浸水対策の実施

R8年度に小松変電所の浸水対策を実施。

### ■各駅周辺の避難場所（自治体設定）の把握

引き続きHPIに自治体避難情報のURL掲載を検討する。

### ■減災協議会パンフレット等配布の実施

引き続き駅構内スペースでの配布を予定。

- 令和7年度は、「重要水防箇所への合同巡視」、「要配慮者施設におけるセニアカーを活用した避難訓練支援」、「流域一体型タイムライン運用に向けたヒアリング」、「流域住民の防災減災知識の普及啓発活動」等に取り組んだ。
- 今後、関係機関および流域治水プロジェクトの取組との連携を図り、支援方策を継続実施していく。

## ● 主な取組内容(R7年度)

### ○ はままつ建設フェスタでの防災意識の普及啓発活動を実施

はままつ建設フェスタにて、水害リスク及び流域治水の自分事化に向けた住民の防災意識普及啓発活動として防災アニマル診断（防災意識レベルを可視化する診断）、マイ・タイムラインノート作成や、ゲーム空間での流域治水のまちづくり体験等を実施した。



はままつ建設フェスタ出展の様子  
(令和7年11月15日)

### ○ 要配慮者施設におけるセニアカーを活用した避難訓練を実施

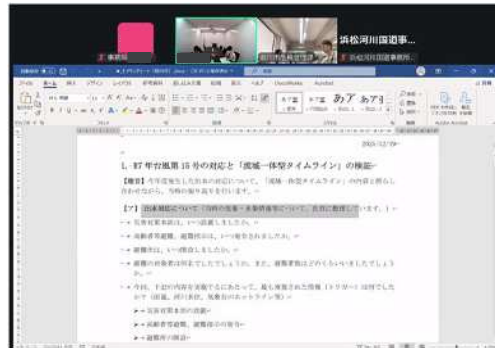
要配慮者利用施設での避難訓練にセニアカーを活用し、要配慮者利用施設職員の負担軽減の把握等を目的とした現地検証を実施した。実施にあたっては、浜松市に位置する要配慮者利用施設、遠州流域治水オフィシャルサポーターのスズキ株式会社様のご協力のもと実施した。当日は、施設敷地内の避難タワー等でセニアカーに実際に乗車して避難を実施した。



セニアカーを活用した避難訓練  
(令和7年11月10日)

### ○ 流域一体型タイムライン運用に向けたヒアリングの実施

菊川流域と天竜川下流域の関係機関の担当者を対象に、今年度の出水時の対応を振り返りや出水時の流域一体型タイムラインの参照状況、参照して行動する上での課題等をヒアリングし、流域一体型タイムラインの課題整理を行った。



ヒアリングの様子  
(令和7年12月11日,17日,19日)

### ○ 流域住民の防災減災知識の普及啓発活動を実施

流域治水の重要性や防災・減災の普及啓発などを目的に、株式会社静岡新聞社と連携し、ラジオを活用した地域住民への情報発信を実施した。

ラジオ番組では、水害時の情報の入手方法や避難時に知っておくべき情報等、出水に備え事前に知っておくべき防災情報について発信した。



ラジオ番組出演  
(令和7年6月27日)

### ●今後5カ年のロードマップ

項目		取組実績			取組予定		対象外
		令和7年度	令和8年度	令和9年度～			
①水害リスク情報の共有による確実な避難の確保	■ 確実な避難指示の発令に向けた取組	洪水対応演習による、ホットライン確認の実施 等	洪水対応演習・ホットライン訓練実施、発令基準を適宜見直し 等				
	■ 避難指示などを計画的に関係者が取り組むための事前行動計画等の策定	流域一体型タイムラインの課題整理 等	対応行動整理表の更新、洪水時の情報伝達体制・方法について関係機関と検討 等				
	■ 要配慮者施設における確実な避難に向けた取組	避難確保計画作成の周知 等	施設管理者への説明会を適宜支援及び実施 等				
	■ 水害リスク情報等の共有に向けた取組	流域一体型タイムラインの課題整理 等	危機管理型水位計・河川監視用カメラ配置計画を適宜見直し 等				
	■ 自主防災体制の強化	2025年5月に重要水防箇所合同巡視を実施	引き続き水害リスクが高い区間等に関する情報の提供と説明会を実施 等				
	■ 水災害教育の充実	住民向けイベントでの防災情報の普及啓発等	出前講座・セミナーの開催 等				
	■ 避難行動を促す取組	住民向けイベントでのマイ・タイムラインノート作成支援 等	防災に関する知識の習得や防災に関する啓発活動や防災教育などに活用できる資料作成支援 等				
	■ 円滑で確実な避難に資する情報発信	住民向けイベントでの防災情報の普及啓発	主旨が伝わりやすい情報提供の促進や情報の入手に関する広報誌等の作成・配布 等				
②洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動等の取組	■ 地域での水防活動の継続的な実施に向けた取組	2025年5月に重要水防箇所合同巡視を実施	重要水防箇所の合同巡視開催、水防訓練への参加 等				
	■ 氾濫水を迅速に排水するための取組	必要に応じて排水作業準備計画の見直しを実施	必要に応じ排水作業準備計画の見直し、地域が有するポンプ等の情報把握 等				
	■ 流域の市町と河川管理者が一体となった総合的な治水対策の推進	浸水被害軽減地区の検討を必要に応じて実施	河川整備計画等に基づく治水対策を継続実施 等				
	■ 河川における機能の確保	河道内土砂掘削 等	河道内土砂掘削及び樹木伐採実施、国が実施するプロジェクトの情報収集及び関係機関への情報提供 等				
	■ 施設能力を上回る洪水への対応	危機管理型ハード対策の検討の継続実施	ハード対策の継続実施				
	■ 被害軽減のための迅速かつ的確な水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	2025年5月に堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施	河川防災ステーションの整備、水位等の情報を関係機関と共有するための施設整備 等				
	■ 河川管理施設の整備等に関する事項	利水ダムを含めたダムの洪水調節機能強化	利水ダムを含めたダムの洪水調節機能強化の継続実施				
	■ 被害対象を減少させる対策	被害対象を減少させるための支援	被害対象を減少させるための支援を継続実施する。				

### ●令和8年度の取組予定

#### ■ 合同水防演習

水防技術の向上・伝承、地域の災害対応能力の向上を目的に国・県・市町、水防団、関係機関が連携し、水防工法の実施、情報伝達、避難行動等の訓練を組み合わせた総合的な水防演習を実施予定です。

#### ■ 天竜川・菊川重要水防箇所の合同巡視

洪水時の迅速な水防活動に資する情報を共有するため、国土交通省 浜松河川国道事務所では、菊川・天竜川流域の自治体職員や消防団員、防災エキスパートと共に、洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所（重要水防箇所）の合同巡視を実施予定です。



昨年度の合同巡視実施の様子